



vol.
38

サポセンニュースレター 2025年 夏燕号



p4-5__【サポセンの事業報告】

- 2025 年度 第 9 期まつど地域活躍塾 公開講演会
- NPO・市民活動よろず講座
インフルエンサーが伝授！
届けたい人に届く、Instagram での広報のポイント

p6__【チャレンジャー】 保護猫ハウス ろくねこ

p7__【ある日のサポセン】

サポセンでは、団体の皆さんからの
専門的なご相談にのっています！

p7__ サポセン新規届出団体

p8__【スタッフコラム】

事務局のおしごと、相談承ります



サポセン
メルマガ登録はこちら！
<https://bit.ly/3gf0dh6>



まつど市民活動
サポートセンター

<http://www.matsudo-sc.com/>



NPO法人さんま
駄菓子屋さんちゃん

キッズネイルに
うきうき♪



街のコーティング屋さん
いいかえカルタ体験

福祉 nail サンベリーナ



支援者つながるカフェ

キッチンカーも
大繁盛!



NPO法人Mama Can
駄菓子屋カフェくるくる

なかなか精巧なくじの
手作り装置です



めだかの学交

千本くじ



体験



NPO法人 岳易館・有育会

占いで
ミライの自分に
こんにちは



みんなで考えよう
ポイ捨てゴミの
ない街を

メッセージの花が
たくさん
咲きました♪



NPO法人メイク松戸
ビューティフル

学ぶ



復興への思いを
黄色いハンカチに
描こう!



魚釣りゲーム



東日本大震災復興支援
松戸・東北交流プロジェクト

ものづくり



NPO法人
子どもとまつど



ステージ出演の
子たちも
熱心に作成中



手作りキラキラドーム

* 素敵に
できたかな? *



ゆめりぼん shop

大人気で
早々に完売!

おかし串



こども ブース



特集

こどもは、みらい。2025

みらいフェスタ

3/22 土

10時30分～
15時



みらいフェスタとは?

市民活動を市民の皆さんにもっと知ってもらおう!という思いから始まり、現在は「こどもは、みらい。」をキャッチフレーズに、地元事業者さんなどにもご協力を頂きながら、様々な企画やブースが出演され子ども中心に皆さんが楽しめるフェスタです。

会場 松戸中央公園

参加者 当日約 3000人(出展 52団体)

●子ども向けスタンプラリー配布数: 800部

●当日パンフレット配布数: 1000部

※こどものまち
子どもたちが、企画に賛同した団体の各
ブースでお仕事をして、お給料として「み
らい券」をもらい、お買い物や遊んだりす
ることが出来る、お仕事&お買い物体験

当日は、汗ばむくらいの快晴に恵
まれ、子どもや子連れの家族を中心
として様々な方に来場いただき、1
日を通して屋外でみらいフェスタが
開催できたのは実に4年ぶり、本
当に大賑わいのフェスタとなりました。
想定よりも多くの子どもたちが
来てくれたことで、実行委員会画の
子ども向けのスタンプラリーカード
は終盤には無くなってしまい、参加
できなかったお子さんにも申し訳ない
ほどでした。また、すっかり定番に
なった「※こどものまち」企画では、お
仕事をがんばったり、働いて得たみ
らい券で楽しそうに自分で買い物す
る子ども達その様子は、大人たちも
笑顔にしてくれました。

こどものまちの
ハロワーク的な
ものです

おしごとセンター



4人の
アイドルたち!



Tri-Star (こがねはら子ども食堂)



marble choco



よさこい柏紅塾

まつどゼロウェイスト



参加型
ごみ分別紙芝居

和気あい太鼓のり



松戸KIDS チアダンススクール
Candy Girls



向日葵太鼓



維新〜心ひとつ〜



よさこい
ソーラン演舞



会場には
ティラノサウルス
も出現!?



ばけごろうも
大人気!

2 2025年5月24日(土)開催 NPO・市民活動よろず講座

インフルエンサーが伝授！ 届けたい人に届く、 Instagramでの広報のポイント

口コミ、チラシ、広報誌への掲載など、従来の広報手段に加えて活用されるようになった SNS 広報。個人でも気軽に始められる時代。だからこそ、団体として SNS をどう活かすか、悩んでいる人も多いのではないのでしょうか。
今回のよろず講座では「Instagram」の団体としての運用をテーマに、SNS 運用コンサルタントの田中ルナさんを講師にお迎えして実施しました。



Instagram は写真や画像メインの SNS のため、見た目やデザインを完璧に仕上げることに目がいきがちですが、大事なものは「伝えたい熱を持ち続けて発信し続けること」。投稿頻度は最低でも3日に1回を目指すことで、「おすすめ」欄を通して人の目に留まりやすくなります。また、団体の SNS としては「バズリ」を狙うよりも、届けたい相手を知りたいことを意識して、活動を知ってほしい属性の人に「刺さる」投稿づくりを意識することが良いとのこと。

「フォロワー数が多いことも大切だけど、コメントやDMなども上手く活用して、応援してくれる人とのつながりを作ることが一番大切。投稿が1000人に届いても実際の活動は1人しか支援してくれなかった：ではなく、500人に届いて、300人が支援してくれるようになることが活動の推進になる」という講師の言葉から、SNS 媒体であっても地道にコツコツと、「人と人」のつながりを育てることの重要性を改めて実感させられる講座となりました。

Point 伝えたい熱を持ち続けて
発信し続けること！

最低でも**3日に1回**
投稿を目指す

届けたい相手に**「刺さる」**
投稿づくりを意識する



講師：田中ルナさん

1 2025年5月30日(金)開催 2025年度 第9期まつど地域活躍塾 公開講演会



何歳からでも挑戦できる！ あなたの経験が活きる 社会参加のススメ

一足早い梅雨のような天候の中、5月30日(金)に松戸市民劇場でまつど地域活躍塾公開講演会が行われました。基調講演のゲスト講師として、東海大学健康学部健康マネジメント学科准教授の澤岡 詩野さんと認定NPO法人サービスグラントファウンダーの嵯峨生馬さんに来ていただき、それぞれの専門や視点から「社会参加」について松戸市民の皆さん向けにお伝えしていただきました。



第1部の基調講演での澤岡さんからは、ご自身がコロナ禍に自宅前で行った「みんなのとしょかん」についてなどを例に、身近なところから楽しく人生100年時代を過ごす考え方やヒントを、嵯峨さんからは、今後の人口減少社会において担い手不足になるところを、市民一人ひとりの「役割の増加」で補え合う考え方、またそれに活用できるプロボノのシステムについて解説がありました。

第2部のまつど地域活躍塾修了生によるトークセッションでは7期の寺崎さんと8期の大崎さんの等身大のボランティア経験と活躍塾で学べたことなどについてお話ししていただきました。

専門家の先生方、市民活動を先に始めた活躍塾の修了生、それぞれの立場や実際の取り組みから、来場者にはそれぞれのメッセージを受け取ってもらえたようで、アンケートでもほとんどの方に満足していただき、また「市民活動のハードルが下がった」「楽しく小さなことでもいいですね」「勇気もらいました」などの前向きな感想が多く寄せられました。

第2部 まつど地域活躍塾修了生による トークセッション



寺崎 寛子さん(7期) 大崎 榮佐さん(8期)

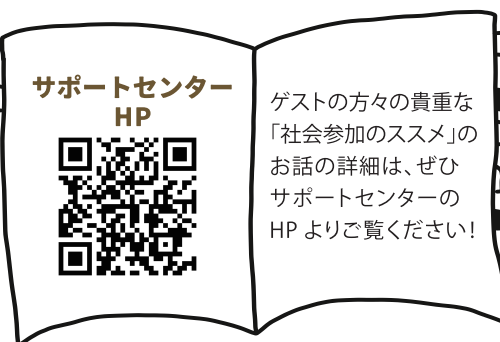
第1部 基調講演



嵯峨 生馬さん



澤岡 詩野さん



来場者
118
名

保護猫ハウス ろくねこ

ROKUNeko



ホームページ
<https://i-promed.jp/business/rokuneko/>

猫と人が出合い 寄り添う場所を

「保護猫ハウスろくねこ」みんなで作るネココミュニティ
マネージャー 石山さんの思い

猫カフェ&譲渡会スタート

今年2月にオープンした「保護猫ハウスろくねこ（以下ろくねこ）」には、月に延べ150人ほどが訪れます。週末になると、小さなお子さん連れのご家族やカップル、ご高齢のお客さまなど、多様な人々が集います。なかには「猫に触ったことがない」という子どもや、「以前飼っていた猫を亡くして……」というご家族の姿も。

「ご主人が獣医師をしている」「石山生産獣医科」の社会貢献部門として活動している強みを生かし、施設内である程度の健康管理まで行える体制が整っています。18名のボランティアと共に、ろくねこの運営や猫のケア、譲渡活動に取り組んでいます。

4月末からは譲渡会を始め、2か月で8頭の譲渡が決まりました。トライアル期間を設け、ご家族との相性を見ながら進めています。ろくねこの運営と並行して譲渡後のフォローアップを行うのは大変ですが、一頭一頭に寄り添うことを大切にしています。

活動には困難も

ろくねこの運営費は、入場料や譲渡金、ご寄付や予防接種の費用等により、ようやく賄えるようになってきましたが、活動には依然として困難が付きまといまます。啓発活動にも力を入れたいところですが、日々の運営に加え、相談の数も増える

一方で、飼育の悩みのほか、地域猫をめぐるトラブルの中には、毒入りの食べ物を置くような深刻な問題や、適切な避妊手術が行われずに猫が30頭以上に増えてしまった家庭もあるといいます。地域との連携が必要なケースも多く、猫と人、双方の暮らしを守るために、地道な対話を重ねていきたいと石山さんは語ります。

これから

今後は、猫の飼育方や健康管理をテーマにしたセミナーを定期的に開催したり、行政との連携についても模索していきたいとのこと。

お店を訪れたあるお客さまは、こう語ってくれました。

「今日で3回目です。来るたびに猫の顔ぶれが変わっていて、譲渡が進んでいるのがうれしい。雰囲気もよくて、癒されます」

猫と人、そのどちらの幸せもあきらめない石山さんの挑戦は、まだ始まったばかりです。

サポセンでは、団体の皆さんからの専門的なご相談にのっています！

団体を運営していて、わからないこと・困ったことありませんか？
まつど市民活動サポートセンターでは、コーディネーターが専門的な内容のご相談に対応しています。

ご相談のメニューいろいろ

- ✓ **広報** (チラシ、ホームページ、SNSなど)
- ✓ **法人格取得** (NPO法人、一般社団法人等)
- ✓ **活動場所** について
- ✓ **団体の運営** について
- ✓ **労務・会計・法人事務**
- ✓ **ICT相談** (情報共有、クラウド活用、オンライン会議など)
- ✓ **資金調達** (助成金、クラウドファンディングなど)
- ✓ **行政や他団体との協働・連携** に関すること

活動資金のために助成金を申請したいのだけれど、法人化しなくては行けないか？
自分たちでできるだろうか？

忙しくなって
スタッフを増やしたい。
社会保険やお給料など
どのような手続きが必要？

例えば
こんな相談がありました

NPO法人の理事長が
急に辞めることになった！
どのような手続きが必要かわからない。

なかなか人が集まらなくて
「チラシがわかりにくい」と言う
意見があった。
伝わりやすいチラシの
作り方を教えて欲しい。

サポセン 新規届出団体 を紹介します！

2025年3月11日～
7月15日
(届出順・敬称略)

- アンサンブルめえめえ ■英語で話そう-Matsudonian
- 松戸市環境未来会議2024OB・OG会
- 自分らしく生きられる社会をめざす会ダイバーシティまつど ■高塚フットボールクラブ
- 心がもっと軽くなる♪認知症介護者★おしゃべりレインボーの会
- 維新～心ひとつ～ ■小金原分譲住宅団地自治会 ■矢切陶芸クラブ ■ピクパド
- リトミック教室♪ぼこあぼこ♪ ■松戸混声合唱団 ■盲導犬を普及させる会
- 医療法人社団洗心 ■笹俳句会 ■白船 ■Miya Balanceball ■新松戸六丁目町会
- 大金平祭り実行委員会 ■元気クラブ柿ノ木台 ■Keep it Real(自分らしく)
- ゆるつなの会 ■松戸eスポーツの会 ■大草原の国モンゴル会

NEW!



〒270-0034 千葉県松戸市新松戸6-68-1 恩田ビル1F(新松戸駅 徒歩 15分)
営業日(最初は):水、木、土、日曜日
営業時間:10時00分～15時00分(最終入店:14時30分)



よんこ(9歳)と
石山さん

事務局のおしごと、 相談承ります

今まで、自分が携わるNPO法人で運営に関わる事務手続きを色々引き受けてきた。最初はNPO法人の設立。そして会計処理業務。会計係くらいの私が複式簿記を見よう見まねで始めた。その数年後には、まつどNPO協議会の会計業務や事務手続きを引き受けて10数年、数年前は解散手続き相談も受け、やっとNPO法人の誕生から活動終いまで一通りのことが見えてきた気がする。

そしてここ数年は、認定NPO法人の申請に関わったり、法人の代替わりの手伝いをしたり、またNPO法人設立をしたり、と運営の根幹に関わる手伝いをさせていただいた。諸事情により期限付きで法人格取得とその先の申請をしたときは、色々ぎりぎりで胃が痛む思いだったが経験知が活かされたのと窓口担当者が機転を利かせてくださったってなんとか乗り切れた。ホッとしたのもつかの間、まだ積み残しの相談があり、そして、自団体の総会が近づいている...という毎年のサイクルに嬉しい？悲鳴。

一般にはどこまでわかっていれば事務局業務がこなせるのか、ちょっとわかりづらい...そこで、全国NPO事務支援カンファレンスという岡山にある団体が、NPO法人における手続き事務への理解を確認する「NPO事務力検定」を実施している。
内容は、所轄庁・法務局への手続き、労務、税務・会計の3テーマ。ごく基本的な内容なので、事務局業務をしているかたにはお勧め。
近いうちに松戸でやりましょう！



とはいえ、色々な運営者からのお話は、立ち上げ、解散に関わらず、とても感銘を受ける。そのかたの生きてきた道、これから向かう道に頭を垂れ、スムーズに進むように、と頭をひねる。
団体運営でどうしよう、と思ったら、とりあえず話を聞かせてくださいな。



まつど市民活動
サポートセンター
副センター長
山崎 恵

サポセンニュースレター



第38号(2025年夏燕号)

発行日: 2025年7月15日
(※年3,4回発行)

発行元: まつど市民活動サポートセンター
(指定管理者 NPO法人まつどNPO協議会)

主な設置場所

松戸市内の図書館、市民センター、公民館等
各種公共施設などに設置しています。

設置協力店

Sampo Café (八ヶ崎 7-31-5)

松戸観光案内所 (本町 7-3)

やしま商店 (本町 6-3)

隠居屋 IN kyo-Ya (南花島中町 196)

はれの日サロン (常盤平 3-11-1
西友常盤平店 5階)

いわぼんホール (岩瀬 38)

紙敷あんど (紙敷 1135)

さんさんカフェ (仲井町 2-6-4)

みんなでパーク (小金原 6-2-13
京成リブレ 2階)

本屋 BREAD&ROSES
(常盤平 4-8-15 ウエキビル 1F)

omusubi 不動産
(総台 1-21-1 あかぎハイツ 112)

Coworking Space Flat Café & Bar
(新松戸 3-289)

昭和セレモニー松戸・矢切・北小金儀式殿
(千駄堀 620-1・栗山 19-4・殿平賀 75-2)

松戸スタートアップオフィス
(松戸 1307-1 松戸ビル 13F)

まちかどアトリエ Neiro
(松戸 1117 ビラ松濤 2F C号室)

鉄塔の下倉庫 (六実 2-38-9)

さくら島村トータルクリニック
(和名ヶ谷 1424-22)



まつど市民活動 サポートセンター

〒271-0094 松戸市上矢切 299-1 (総合福祉会館内)

TEL: 047-365-5522 FAX: 047-365-5636

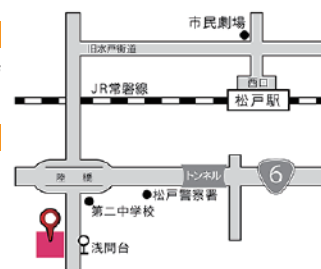
E-mail: hai_saposen@matsudo-sc.com

URL: <http://www.matsudo-sc.com/>

facebook: <https://www.facebook.com/matsudo.sc>

開館時間
月～土: 9時～21時
日: 9時～17時

休館日
第1・第3水曜、
年末年始
(12/29～1/3)



編集 後記

サポセンのミニトマトも色づいてきました。夏ですねー(ひ)

「ぽっく」の配架にご協力いただける
お店・施設を募集します！

ニュースレター「ぽっく」を、お店や施設に配架していただけますか？ご協力いただいたお店・施設は、この欄で名称・所在地等をご紹介します。もちろん、無料でお届けし、部数もご要望に応じます。詳しくは、まつど市民活動サポートセンターまで、お電話・メール等でお気軽にお問合せください。